

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備考
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
								駿河台 校 舎	船 橋 校 舎							
1	コンパクト建築設計資料集 成「都市再生」	一般社団法人 日本建築学会 編	丸善出版 (株)	978-4-621-08756-5 2014	教授	岡田智秀	1年生			これまで建築空間の基準寸法を網羅した書はみられたが、建築空間とともに公共空間をも包含して都市全体を平面・断面・立面として表現し、都市スケールを具体的に数値として整理した書である。都市の対象も、景観、保存、リノベーション、地区再生、交通再編、環境再生等の現代都市の課題ごとに国内外事例を数多く紹介。事例のbefore-afterや展開手法が解説され、まちづくりや地域再生に取り組む際に参考とすべき情報が網羅されている。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					
2	沿岸域環境事典	日本沿岸域学 会編	共立出版	978-4-320-07414-9 2004	教授	岡田智秀	1年生			1977年第3次全国総合開発計画において陸と海をまたぐ第三の国土空間として「沿岸域」なる語が誕生し、沿岸域の開発整備と環境保全の両立の重要性がうたわれた。本書はそのビジョンを構築するために必要な11分野220項目を取り上げ、環境・生態、地理・地質、防災・土木、港湾・交通、船舶、水産、都市・建築、造園、観光・レクリエーション、歴史・文化、産業・政策という多面的キーワードを集大成し「海辺のまちづくり」で必携書となる。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○			3					
											4					
											5					
3	水理学	大津岩夫・安田 陽一 編	理工図書	978-4-8446-0722-9 2007	教授	後藤 浩	1年生			まちづくり工学科における水理学の参考図書にしている。本図書は大学課程で学ぶ水理学のすべてが網羅されており、授業以外でも、各種資格試験などにたいへん有益な内容が包含されている。	1					
							2年生以上	○			2					
							全学年				3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備考
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
								駿河台 校 舎	船 橋 校 舎							
4	水理学 改訂2版	玉井信行・有田 正光 共編	オーム社	97842742 16732 2014	教授	後藤 浩	1年生			まちづくり工学科における水理学 の参考図書にしている。本図書 は、重要な点が抜粋されており、 公務員試験のベースとなる項目 が整理されている。	1					
							2年生以上	○			2					
							全学年				3					
											4					
											5					
5	空間練習帳	小島一浩 伊藤香織 小池ひろの 高安重一	彰国社	978-4- 395- 24011-1 2011	教授	田中 賢	1年生			書籍のタイトルにあるように建築 にフォーカスせず大きく空間として 建築からまちまで幅広く捉えて、 デザインを考えるワークショップ手 法を紹介している。この書籍は、 授業とは離れて学生自身が研鑽 を積む際に用いるものである。難 しい課題はなく、とにかく手を動か すワークがほとんどである。デザ イン演習の授業に取り組む前に肩 慣らしに挑戦しては如何だろう か。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
6	デザインの輪郭	深澤直人	TOTO出版	4-88706- 260-5 2005	教授	田中 賢	1年生			われわれ建築やまちのデザイン に取り組む者に対し、デザインの 本質について語りかける一冊であ る。筆者はプロダクトデザイナーで あるがモノではなくコトのデザイン について述べており建築からまち づくりまで応用が利くと思う。ま た、本書にはユニバーサルデザイ ンという文言は一つもないが、こ れに通じる内容が多くありユニ バーサルデザインに関心のある 学生には、ぜひ読んで頂きたい一 冊である。	1	デザインのデザイン	原 研哉	岩波書店	2003	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者		推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考		
							学 年	配架(希望)先		書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年			
								駿河台 校 舎							船 橋 校 舎	
7	図解 橋の科学	田中輝彦, 渡邊英一	講談社	2010	教授	仲村成貴	1年生			普段何気なく使っている橋には、さまざまな形があり、使われる材料もさまざまです。まちの景観にも大きな影響を及ぼす橋が、そもそどのように計画、設計、施工されるのか？見た目だけでなく、科学的な視点から橋の仕組みがとても読みやすく書かれています。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
8	福祉のまちづくりの検証	日本福祉のまちづくり学会編	彰国社	2013	特任教授	八藤後 猛	1年生			2011年の東日本大震災をきっかけとして、いま福祉のまちづくりとはなにかを問うものである。そうしたまちづくりのあり方の基本思想から、それを実践するための技術的手法、そして実践例について、日本福祉のまちづくり学会学会員が互いに議論し、協同で執筆に当たった。	1	建築都市のユニバーサルデザイン	田中直人	彰国社	2012	
							2年生以上				2	共生のユニバーサルデザイン	三星昭宏、他	学芸出版	2014	
							全学年	○	○		3	住環境のバリアフリーユニバーサルデザイン	野村 歡、他	彰国社	2015	
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考	
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
								駿河台 校舎	船橋 校舎							
9	住環境のバリアフリーユニバーサルデザイン	野村 歡編	彰国社	2015	特任教授	八藤後 猛	1年生			住環境、都市環境整備に関する技術的方法やしつらえ、機器、設備等について紹介したものである。本書の特徴は、排せつする、入浴する、生活を楽しむといった生活行為を切り口として、人間生活から環境デザイン手法に言及しているため、初学者でもわかりやすい。	1	「福祉住環境コーディネーター検定試験®」公式テキスト2級公式テキスト＜改訂4版＞	東京商工会議所	東京商工会議所	2016	
							2年生以上				2	「福祉住環境コーディネーター検定試験®」公式テキスト3級公式テキスト＜改訂4版＞	東京商工会議所	東京商工会議所	2016	
							全学年	○	○		3	歩行者の道〈1〉マイナスのデザイン	津田 美知子	技報堂	2002	
											4	歩行者の道〈2〉通行帯のデザイン	津田 美知子	技報堂	2002	
											5					
10	アメリカ素描 42刷改版	司馬遼太郎	新潮文庫	2008	教授	阿部貴弘	1年生			まちづくりの要諦は、まちの歴史と文化を的確に読み解くことにあるといえよう。そのためには、まちづくりの技術者として、幅広い視野と深い洞察力が欠かせない。本書は、およそ30年前、著者がアメリカの諸都市を訪れた際に目の当たりにした、人工国家とも呼ばれるアメリカの歴史と文化を鋭く読み解いた取材記録である。30年たっても決して古びることのない本書は、まさにまちを読み解く視野を広げてくれる一冊である。	1	この国のかたち1～6	司馬遼太郎	文春文庫	1993～2000	
							2年生以上				2	街道をゆく	司馬遼太郎	朝日文芸文庫	1978～	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)					備考
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
								駿河台 校 舎	船 橋 校 舎							
11	ポローニャ紀行	井上ひさし	文藝春秋	2008	教授	阿部貴弘	1年生			わが国でも“市民参加のまちづくり”が叫ばれて久しい。しかしその取り組みは、まだまだ成熟過程にあると言わざるを得ない。はたして、市民が自ら住みよいまちを作っていくためには、いかにしてまちづくりに取り組むべきなのか。そのお手本を示してくれているのが、イタリアの小都市「ポローニャ」である。本書は、ポローニャのまちとまちづくりの歴史を、ユーモアあふれる筆致でひも解いてくれている。まちに暮らす豊かさとは何かを考えるうえで、必読の書といえよう。	1	あてになる国のつくり方―フツーン人の誇りと責任	井上ひさし	光文社文庫	2008	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
12	インクルーシブデザイン 社会の課題を解決する参加型デザイン	編者 ジュリア・カセム 平井康之 広瀬隆之 森下静香	学芸出版社	978-4-7615-2569-9 2014	教授	依田光正	1年生			ユニバーサルデザインはデザインと社会の極めて理想的な関係を示した理念であるが、その極みに達することは不可能に近い。しかしながら、その理念に向けて様々なデザイン活動の取り組みが行われている。インクルーシブデザインもそのひとつであり、マイノリティをデザインプロセスに取り込んで、当事者だけでなく専門家を含めた様々な気づきを形にするとともに、より多くの人の問題解決を図ろうとするデザインプロセスである。	1	「インクルーシブデザイン」という発想 排除しないプロセスのデザイン	ジュリア・カセム	フィルムアート社	2014	
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者		推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考		
							学 年	配架(希望)先		書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年			
								駿河台 校舎							船橋 校舎	
13	緑のランドスケープデザイン 改訂2版	山崎 誠子	オーム社	2021	准教授	押田佳子	1年生			建築デザイン演習で馴染みの山崎先生の著書。ランドスケープデザインを従来の農学的な解釈だけでなく、建築との調和などを踏まえた多面的なアプローチから捉えられている。基礎調査からプランニング、設計に至るまで実践的な内容となっており、授業ではもちろん、社会人になってからも参考書として扱える良書。	1	樹木別に配植プランがわかる植栽大図鑑	山崎 誠子	エクスナレッジ	2013	
							2年生以上				2	世界で一番くわしい住宅用植栽	山崎 誠子	エクスナレッジ	2011 2022	
							全学年	○	○		3	造園がわかる本	赤坂信	彰国社	2006	
											4					
											5					
14	ときめきの観光学	澤渡貞夫	言視舎	2013	准教授	押田佳子	1年生			「観光原論」および「観光まちづくり論」の副読本としてオススメ。多くの実例から「観光」と「観光地」の再生について分析されている。観光系への就職を考える学生にはもちろん、行政や建築系志望者においても観光の振興によって地域の活性化を目指そうとする人には読み応えがある1冊。	1	観光入門	青木義英	新曜社	2011	
							2年生以上				2	新・観光立国論 ：イギリス人アナリストが提言する21世紀の「所得倍増計画」	デービッド・アトキンソン	東洋経済新聞社	2015	
							全学年	○			3	観光学事始め	井口貢	法律文化社	2015	
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻																
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考			
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年				
								駿河台 校 舎	船 橋 校 舎									
15	まち建築 ―まちを生かす36のモノづくりコトづくり―	日本建築学会	彰国社	2014	准教授	山崎 晋	1年生			サブタイトルにあるように、モノ(物体)としての建築を「まち」の中でどう「つくり」「使いこなす」か、コト(活動)を「つくる」ことで「まち」にどう生かされているか事例を踏まえながら解説している。建てない時代と言われているが、「まち」の中で「建築」ができることがまだまだあると感じられる一冊。建築や都市空間を「つくる」ことに興味がある人だけでなく、ソフトとしてのまちづくりに興味のある人もぜひ一読して頂きたい。	1	まちの居場所	日本建築学会	東洋書店	2010			
							2年生以上				2	PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた	馬場正尊他	学芸出版社	2015			
							全学年	○	○		3	RePUBLIC 公共空間のリノベーション	馬場正尊他	学芸出版社	2013			
											4							
											5							
16	シェア空間の設計手法	猪熊純・成瀬友梨	学芸出版	2016	助教	落合正行	1年生			人口減少の今、「まち」に建築物が溢れる時代に、一つの空間を複数で共有(シェア)するという手法は必然的な考え方といえる。この書籍は、「シェア空間」を持つ49の建築作品の図面集であると同時に、これからのシェア空間を考える設計者や計画者のアイデア本である。計画系の講義や演習授業でぜひ活用してもらいたい。	1	ひらかれる建築:「民主化」の作法	松村 秀一	筑摩書房	2016			
							2年生以上				2	「シェア」の思想／または愛と制度と空間の関係	門脇 耕三 他	LIXIL出版	2015			
							全学年	○	○		3							
											4							
											5							
17	庭木・街の木(ポケットガイド)	岡部 誠 巽 英明 堀越 禎一	小学館	1999	助教	西山 孝樹	1年生			ある“まち”の街路に、どのような樹木を植えようか。喬木にしようか、それとも灌木を選定しようか。街路の植栽は、その景観にも影響する大変重要な構成要素の一つです。タイトルの通り、ポケットサイズの本書を懐にしのばせ、まち歩きをしながら街路樹の名称を覚えてみてはいかがでしょうか。樹種を知っているだけで、まちづくりを実践する将来の現場で役立つことが大いにあるはずです。	1	葉形・花色でひける木の名前がわかる事典―庭木・花木・街路樹など身近な樹木433種	大嶋 敏昭	成美堂出版	2002			
							2年生以上	○			2	樹木図鑑 (NHK趣味の園芸)	北村 文雄	NHK出版	2001			
							全学年				3							
											4							
											5							

まちづくり工		学科・専攻																
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考			
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年				
								駿河台 校 舎	船 橋 校 舎									
18	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか 近距離移動が地方都市を活性化する	村上敦	学芸出版社	2017	助教	田島洋輔	1年生			わが国では人口減少・高齢化が進む中、地域活力や医療・福祉等の生活機能を確保し、誰もが安心して暮らせるコンパクトなまちづくりが求められています。本誌では、コンパクトシティ先進国であるドイツの事例からショートウェインシティや自転車交通の推進、自動車交通の抑制と静穏化、分離化、結束化をキーワードに「車のないまち」の魅力を学ぶことで、わが国の都市のあり方を改めて考え直すきっかけとなる内容となっています。	1	フライブルクのまちづくり	村上敦	学芸出版社	2007			
							2年生以上				2	ドイツの地方都市はなぜクリエイティブなのか	高松平蔵	学芸出版社	2016			
							全学年	○	○		3	フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか	ヴァンソン藤井由実	学芸出版社	2016			
											4							
											5							
19	PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた	馬場正尊＋OpenA	学芸出版社	2015	助教	牟田 聡子	1年生			少子高齢化による人口減少で自治体の税収は減少し、公共空間の維持管理が困難になっています。本書は今まで行政が主となり計画・運営されていた公共空間を、様々な立場にたった実践者が事例を紹介しつつ、今後の新たな公共空間のあり方について述べています。また、その著者たちは30代から40代であり、みなさんの遠くない姿と重なります。知識だけでなく、著者たちの発想の源を探り、今後に活かしてください。	1							
							2年生以上	○			2							
							全学年				3							
											4							
											5							
20	農山漁村の「空間分類」景観の秩序を読む	今里悟之	京都大学学芸出版会	2006	教授	岡田智秀	1年生			本書は、日本の近代化によって失われる以前の「日本のふるさとの風景(原風景)」の空間構造と地名由来をわかりやすく解説した書である。欧米流の土木・建築技術が日本に移入されて久しい日本であるが、残すべき日本の原風景とその風景の特徴を物語る地名のメカニズムについて、あらためてその重要性に気づかされる内容が図説を通して分かりやすく解説されている。	1	風景学入門	中村良夫	中公新書	1982			
							2年生以上	○	○		2	日本の地名	谷川健一	岩波新書	1997			
							全学年				3							
											4							
											5							

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者		推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考		
							学 年	配架(希望)先		書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年			
								駿河台 校 舎							船 橋 校 舎	
21	不便から生まれるデザイン	川上浩司	株式会社 化学同人	978-4- 7598- 1342-5 2011	教授	田中 賢	1年生			ユニバーサルデザインとは何かを、対極にある不便から考えた書籍である。不便は本当に排除すべき悪なのか、不便には益がないのか、不便で良かったことはないのかなど不便益の事例を挙げて解説している。ヒューマンファクター、適合と習熟、ユーザビリティなど人間工学やユニバーサルデザインの基礎は押さえてある。	1					
							2年生以上				2					
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
22	パリ・旅の雑学ノート(カフェ/舗道/メトロ)	玉村豊男	中公文庫	2009	教授	阿部貴弘	1年生			居心地の良い空間、使い勝手の良い空間、そうした空間があふれているまちこそ、魅力あるまちと言えよう。では、そうした空間をいかにして創り出すのか。まちづくりの技術者の腕の見せ所である。本書は、世界中の人々を魅了するパリにおいて、カフェ、舗道、そしてメトロに着目して、幅広い視点からその成り立ちを解き明かしている。魅力あるまちを支える空間の創出に向けて、実に示唆に富んだエッセイである。	1	パリのカフェをつくった人々	玉村豊男	中公文庫	1997	
							2年生以上				2	パリ 旅の雑学ノート(2冊目)	玉村豊男	新潮文庫	1983	
							全学年	○	○		3	ロンドン 旅の雑学ノート	玉村豊男	新潮文庫	1983	
											4					
											5					
23	里山資本主義ー日本経済は「安心の原理」で動くー	藻谷浩介 NHK 広島取材班	角川書店	2013	助教	田島洋輔	1年生			少子高齢化や人口減少の進む中山間地域では、農業・林業等の衰退が著しく早急な地域復興が必要となっている。こうしたなか、里山から始まるエネルギー革命や貨幣換算できない物々交換の復権、地域でつながることでの本来の福祉社会などの重要性に目を向けて様々な事例を経済学者の視点でまとめた逸品です。グローバル社会の今だからこそ、里地里山の重要性やお金では測れないモノの価値を再認識してみませんか？	1	どうすれば環境保全はうまくいくのか 現場から考える「順応的ガバナンス」の進め方	宮内泰介	新泉社	2017	
							2年生以上				2	藻谷浩介さん、経済成長がなければ僕たちは幸せになれるのでしょうか？	山崎亮、藻谷浩介	学芸出版社	2012	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者			推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考	
							学 年	配架(希望)先			書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年		
								駿河台 校舎	船橋 校舎							
24	シビックプライドー都市のコミュニケーションをデザインする	伊藤香織 紫牟田伸子	宣伝会議	2008	准教授	落合正行	1年生			18世紀にイギリスで生まれた「シビックプライド」、つまり「市民が都市に対してもつ自負と愛着」という考え方は、地域活性の切り札とし注目されています。「まち」を愛することは、「まち」を熟知し、その魅力を他者に伝達することであり、観光の原点にあると思います。	1	シビックプライド2【国内編】 ——都市と市民のかかわりをデザインする	伊藤香織、紫牟田伸子	宣伝会議	2015	
							2年生以上				2	シビックエコノミーー世界に学ぶ小さな経済のつくり方	石原薫(翻訳)	フィルムアート社	2016	
							全学年	○	○		3	日本のシビックエコノミーー私たちが小さな経済を生み出す方法	紫牟田伸子ほか	フィルムアート社	2016	
											4					
											5					
25	エリアリノベーション:変化の構造とローカライズ	馬場正尊ほか	学芸出版社	2016	准教授	落合正行	1年生			建築とまちづくりを結びつける書籍。人口減少社会の今、建物が余る時代といわれており、その中でリノベーションという考え方が広がりました。しかし、これまでは建築単体の手法論でしたが、これをエリア全体へと考え方をシフトしたのがエリアリノベーションです。「まち」という相対的な中で、どの建物をリノベーションすべきか、リノベーションすることで「まち」全体の価値向上を図ることを目的とした新しい手法論です。	1	CREATIVE LOCAL:エリアリノベーション海外編	馬場正尊ほか	学芸出版社	2017	
							2年生以上				2	リノベーションまちづくり 不動産事業でまちを再生する方法	清水義次	学芸出版社	2014	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					

まちづくり工		学科・専攻														
No.	書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年	推薦者資格・氏名		選書で想定する対象者		推薦理由 (200文字前後を目安)	推薦書に関連する図書の情報(3～5冊程度)				備考		
							学 年	配架(希望)先		書名	著(編)者名	出版社	ISBN 又は 出版年			
								駿河台 校舎							船橋 校舎	
26	アメリカ大都市の死と生 新版 第2刷	ジェイン・ジェイ コブズ	鹿島出版会	2010	助教	栗本賢一	1年生			本書は、都市計画の古典的名著としてまちづくりの本質を問い直す一冊です。著者は多様性と人間中心のまちづくりの重要性を説き、大規模再開発への批判的視点を提示しながら、コミュニティの価値を再評価します。都市の活力を生み出す要素を丁寧に分析し、現代のまちづくりに不可欠な洞察を提供しています。本書は、まちづくりを学ぶ学生はもちろん、まちの未来に関心を持つすべての人に新たな視点をもたらすでしょう。	1	都市の原理	ジェイン・ジェイコブズ	鹿島出版会	2011	
							2年生以上				2	発展する地域 衰退する地域：地域が自立するための経済学	ジェイン・ジェイコブズ	筑摩書房	2012	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					
27	集落の教え100 第6刷	原広司	彰国社	2004	助教	栗本賢一	1年生			建築家・原広司の『集落の教え100』は、世界中の伝統的集落から現代のまちづくりへの示唆を探る貴重な一冊です。著者は長年のフィールドワークを通じて、人々の暮らしと環境が織りなす空間の知恵を100の教えとしてまとめています。この本は、都市計画や建築を学ぶ学生に、形態だけでなく文化や生活様式を含めた総合的な視点を提供します。現代の画一的な都市開発に疑問を投げかけ、持続可能な共生のあり方を考える上で、刺激的かつ示唆に富む読み物となるでしょう。	1	空間〈機能から様相へ〉	原広司	岩波書店	2007	
							2年生以上				2	建築家なしの建築	バーナード・ルドフスキー	鹿島出版会	1984	
							全学年	○	○		3					
											4					
											5					